

(353) わかりやすい第1類消防設備士 旧版 正誤表

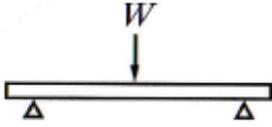
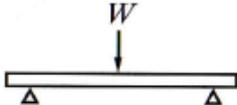
本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。初版時からの訂正を載せております。お手持ちの本では修正されている可能性もございます。

弘文社 編集部

P27 表1 特類-乙種の欄

誤	正
○	○を削除。

P64 図1-19の(イ)と(エ)

誤	正
 <p>(イ) 両端支持ばり (単純ばり)</p>  <p>(エ) 張出ばり</p>	 <p>(イ) 両端支持ばり (単純ばり)</p>  <p>(エ) 張出ばり</p>

P67 **2. 安全率** の1行目

誤	正
権限強さ	極限強さ

P77 【問題14】選択肢(1)～(4)

誤		正	
R_A	R_B	R_A	R_B
(1) 100 N	49 N	(1) 49 N	100 N
(2) 240 N	120 N	(2) 120 N	240 N
(3) 490 N	310 N	(3) 310 N	490 N
(4) 510 N	410 N	(3) 410 N	510 N

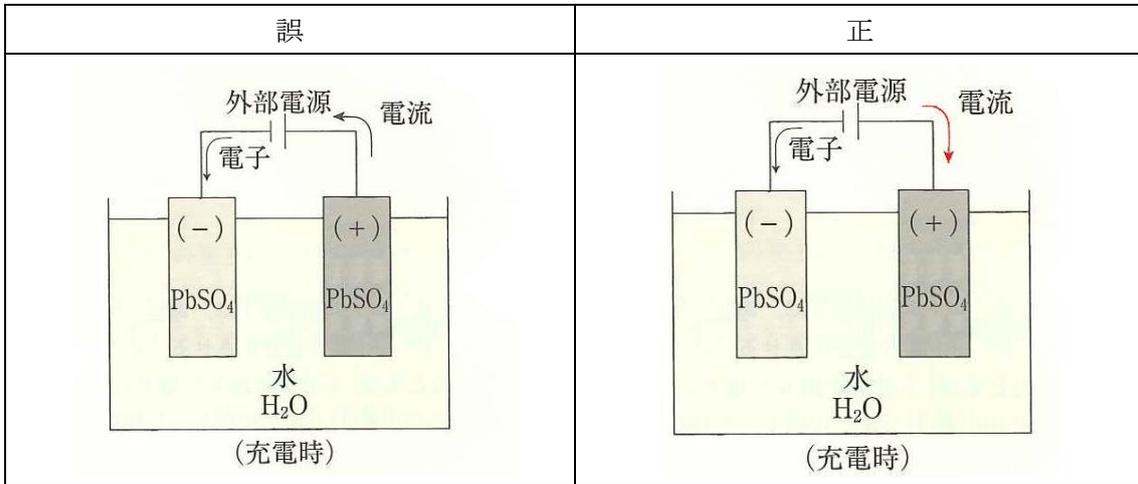
P 9 2 ①の式

誤	正
$X = R \times Q / P$	$X = P \times R / Q$

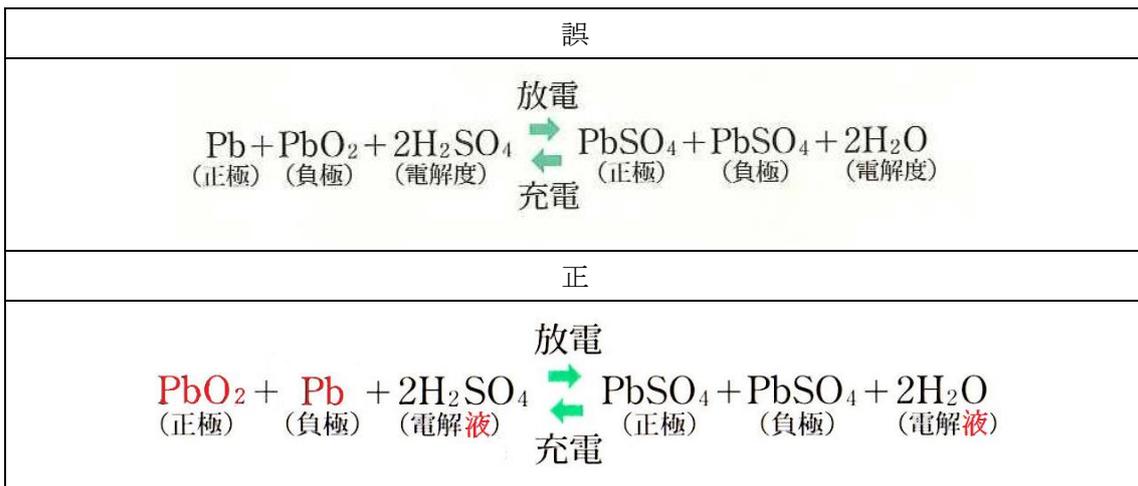
P121 <例題>の1行目

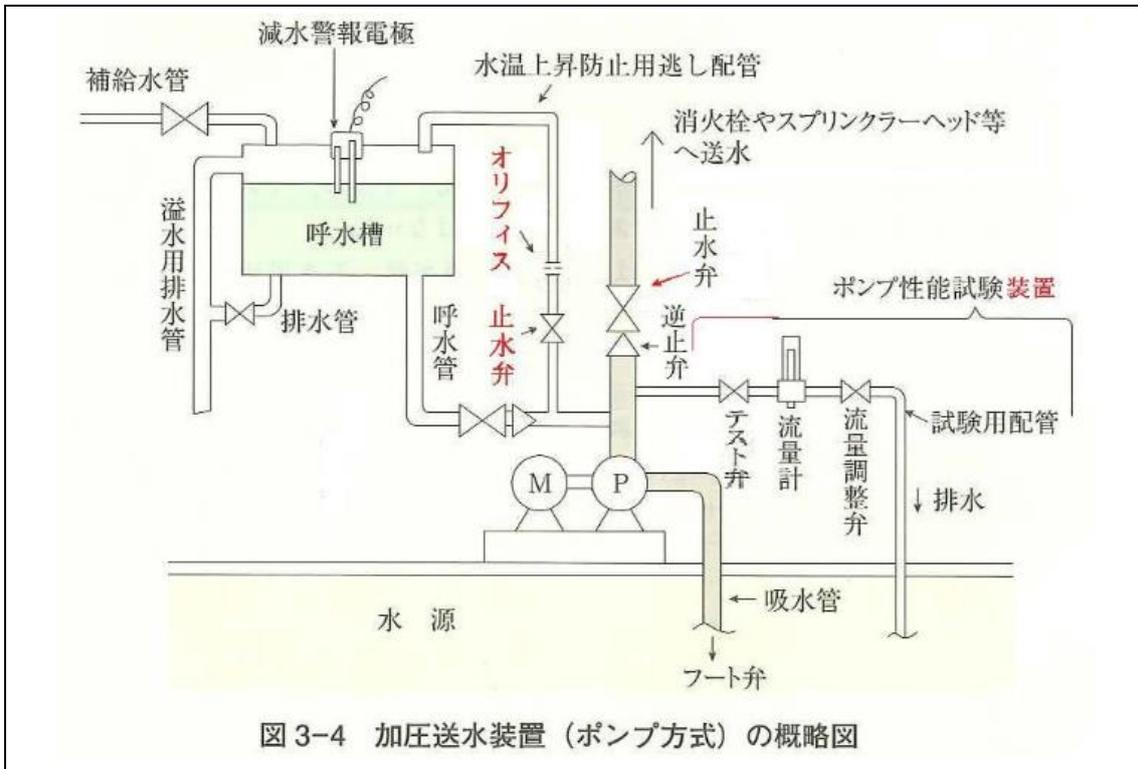
誤	正
30V	300V

P122 図 2-33



P123 充電、放電の式





P161 **5. ポンプの振動と騒音** - キャビテーション の説明

誤	正
水中の～気泡が押しつぶされることによる水撃作用。	水中の～気泡が押しつぶされる 現象で、空洞現象ともいう。

P165 **12. 電動機** ① 所要動力

誤	正
Q : 吐出量 (m ³ /分)	Q : 吐出量 (m ³ / min)

P 1 8 8 **3. 水源水量** の 2 行目

誤	正
$130 \times 20 = 260$ l / min	$130 \times 20 = \mathbf{2600}$ l / min

P 1 9 1 (3) 消火栓部分 の 1 行目

誤	正
「 開放 弁とホースとの 結合金具 」	「 開閉 弁とホースとの 結合金具 」

P192 2. ノズル 1行目、図3-28、 P197 図3-30 (b)

誤	正
ブレーパイプ	ブレーパイプ

P194 重要の表の最下段

誤	正
展開弁の高さ	開閉弁の高さ

P201 図3-32の注意書き

誤	正
注) ホース接続式には～	注) ホース接続口には～

P212 図3-42

誤	正
r : 有効放水半径	r : 有効散水半径

P214 表3-11のタイトル

誤	正
スプリンクラーヘッドの表示温度	スプリンクラーヘッドの標示温度

P219 最下段の重要囲み を下記のように配置変更

正
P219の最下段からP218の4. 全揚程の上に移動。

P223 (4) 末端試験弁の8行目

誤	正
この末端試験弁は、閉鎖型スプリンクラー設備の湿式のみを用いるもので、	この末端試験弁は、閉鎖型スプリンクラー設備(湿式、乾式、予作動式)に用いるもので、

P237 <ヘッドの設置個数計算方法について>の9行目

誤	正
$\sqrt{2R}$	$\sqrt{2}R$

P237 <ヘッドの設置個数計算方法について>

誤	正
10 ÷ 3 ≒ 3.33 個……繰り上げて 4 個	8 ÷ 3 ≒ 2.66 個……繰り上げて 3 個
2 × 4 = 8 個	2 × 3 = 6 個

P237 図 3-59

誤	正
※次のものに差し替えます。	

P257 図 3-70 の 3 F

誤	正
放水口	放水口

P 2 6 1 問題 4 の 3 行目

誤	正
K は伝達係数,	α は伝達係数,

P266 上から 2 行目の参照ページ

誤	正
<加圧送水装置 → P.155>	<加圧送水装置 → P.186>

P 2 8 3 問題 3 3 の肢 (2)

誤	正
(2) 圧力検知装置	(2) 一斉開放弁

P 2 8 4、問題 3 4 の解説 1 行目

誤	正
末端試験弁は、閉鎖型スプリンクラー設備の湿式のみ用いられ	末端試験弁は、閉鎖型スプリンクラー設備(湿式、乾式、予作動式)に用いられ

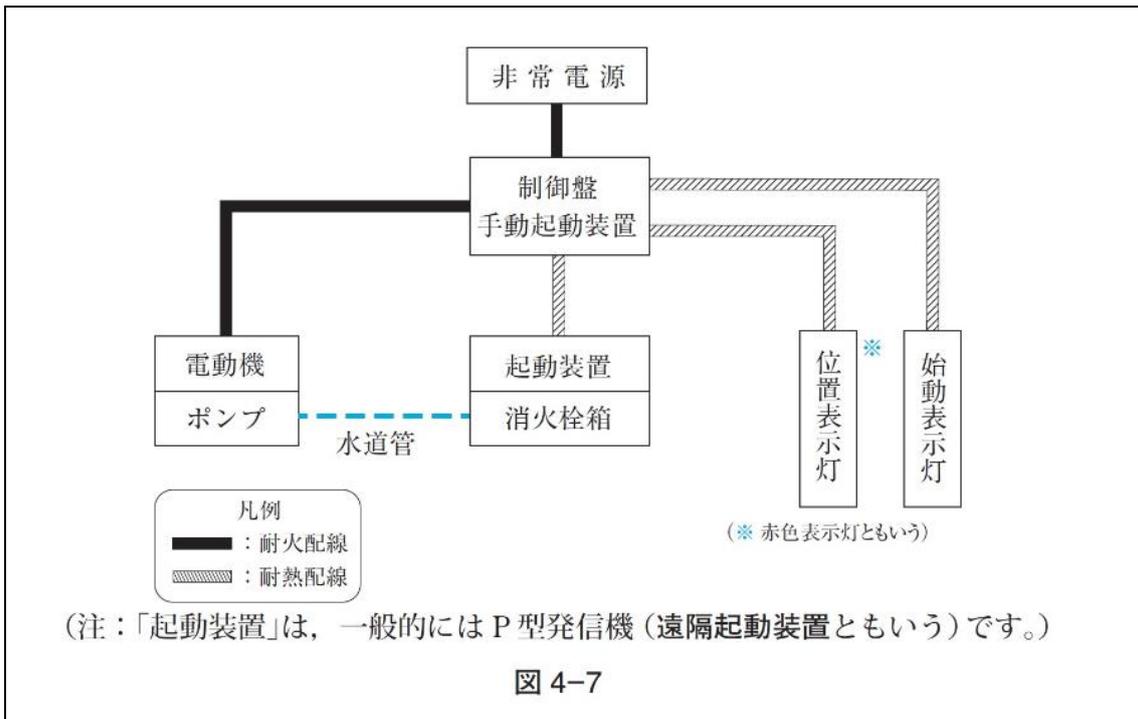
P295 問題 49 (3)

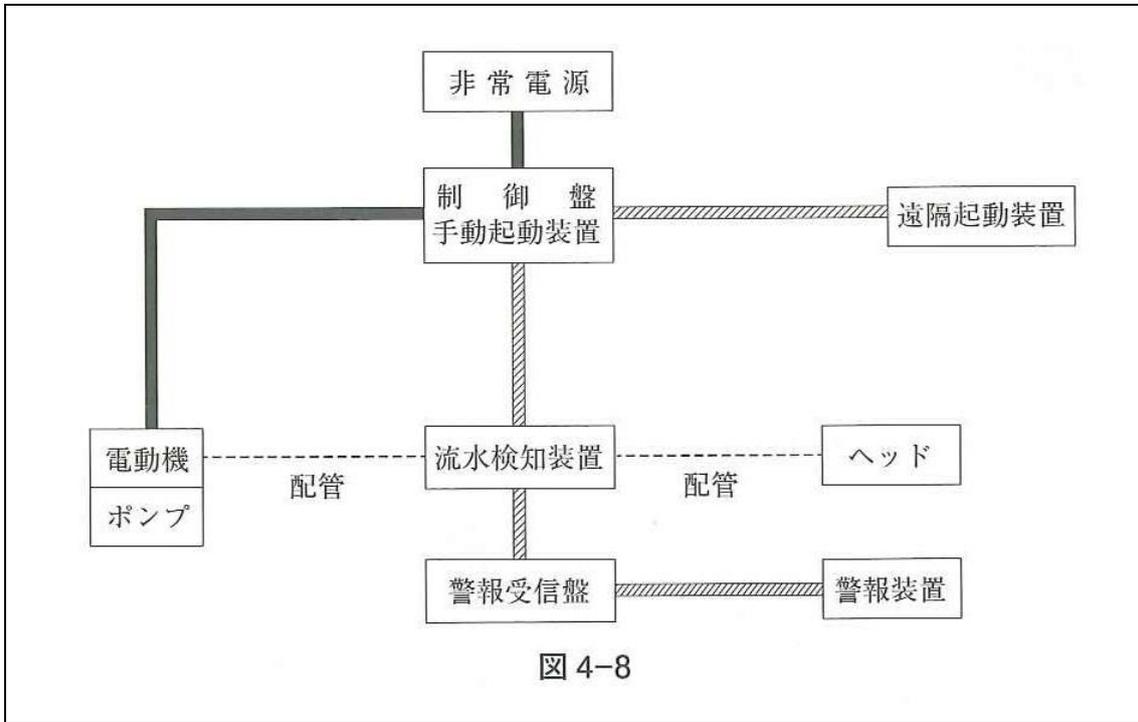
誤	正
Y形ストレナー	ピトーゲージ

P296 問題 49 (3) 解説

誤	正
※次の文に差し替えます。	ピトーゲージは、屋内消火栓または屋外消火栓において棒状放水の圧力を測定する機器です。

P316 図 4-7、P317 図 4-8 を下記のように訂正





P324 カップリング

誤	正
※写真を次のものに差し替えます	

P333 【問題 13】の解説 2～3 行目

誤	正
～と、制御盤から電動機とポンプまでです。	～と、制御盤から 電動機まで です。

P371 (3) 特定1 階段等防火対象物の 1 行目

誤	正
避難がしにくい地下鉄または～	避難がしにくい地下 階 または～

P386 表 6-4 の下※の文章に下記の赤字部分を追記。

正
※6 項ロ (要介護の老人ホーム等)、及び、6 項ロの用途部分を含む 16 項イ～以下同～

P421 問題 34 (2)

正
講習の科目については、講習を実施する都道府県知事が定める。

P421 問題 34 解説

正
(2) このような規定はありません。

P436 表 6-19 下段の(16)項の欄 下記のように訂正

(10) ※1	イ	特定用途が存在する複合用途 防火対象物	特定用途が 3000	1000	特定用途が 1500 (2項4項は 1000)	全階に設置
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	—	—	—	11階以上
(16-2)	地下街	延べ面積 1000 (6項ロは全て)		—		
(16-3)	準地下街	延べ面積 1000 かつ特定用途が 500				

P 4 4 3 問題 5 の B

誤	正
B 駐車場	B 市役所

P 4 4 4 問題 5 の解説 B

誤	正
B : 駐車場は、～	B : 市役所は、～

P462 【問題 13】の解答

誤	正
左から易操作性 1号消火栓、1号消火栓、～	左から 1号消火栓、易操作性 1号消火栓、～

P476 【問題 27】(53) 設問 2 の解答・補足

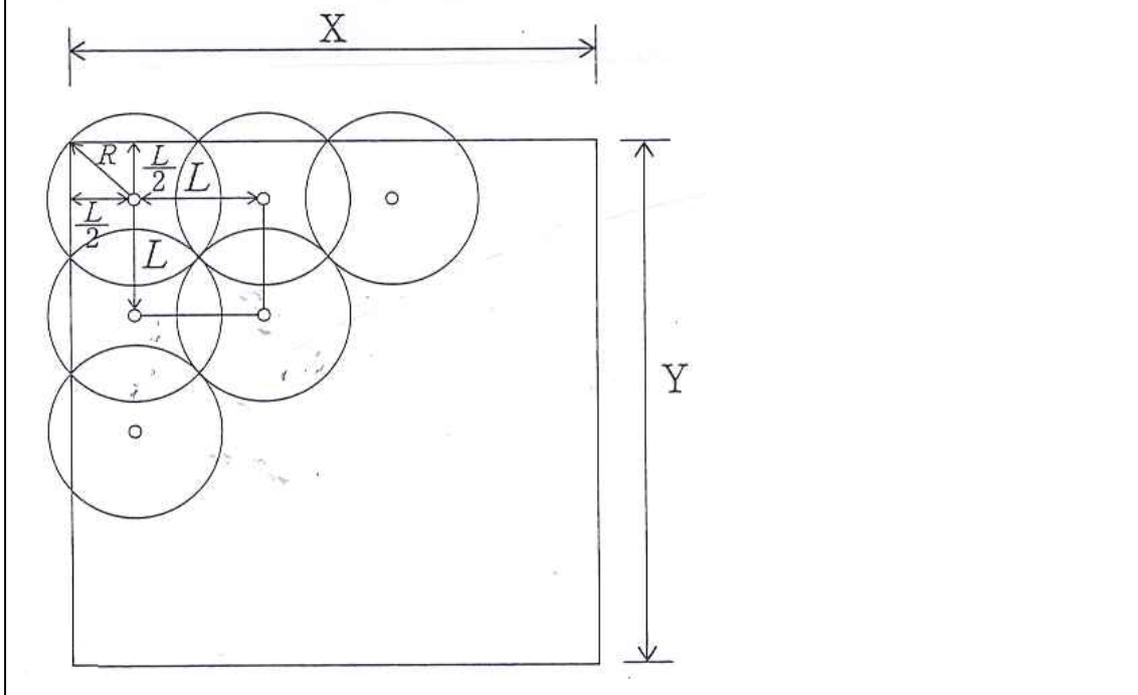
誤	正
(補足:配管の～一次側にオリフィスがあり～)	(補足:配管の～二次側にオリフィスがあり～)

P527 ② 5行目

誤	正
の寸法でそれぞれ割れば	の寸法をその L で割れば

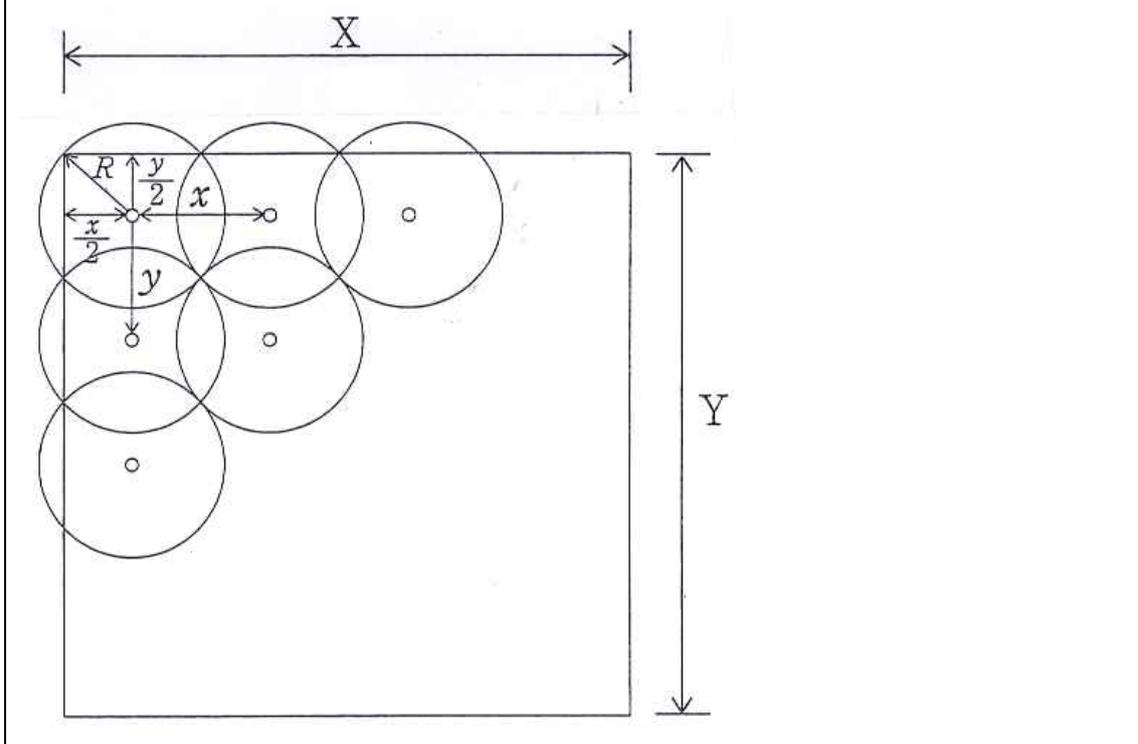
P527 図 8-14

※次のものに差し替えます。

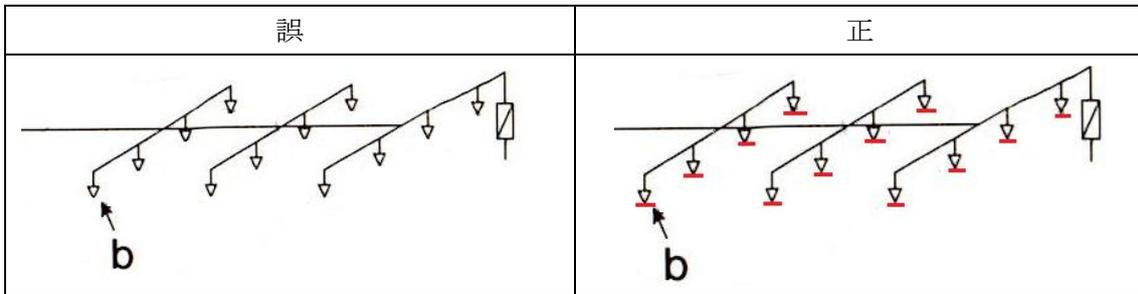


P528 図 8-15

※次のものに差し替えます。



P541 【問題4】図の上部 P542



P 5 4 9 問題1の設問1の解答欄

誤	正
(l / m i n)	$(m^3 / m i n)$

P 5 5 0 問題1の設問1の解説4行目

誤	正
$50 \times 20 = 1000$ (l / m i n) の水源水量が～	$50 \times 20 \times 20 = 20,000$ (l / m i n) = 20 ($m^3 / m i n$) の水源水量が～

P 5 5 0 問題1の設問1の解答

誤	正
1,000 (l / m i n)	20 ($m^3 / m i n$)

以上